

令和5年3月8日

議員派遣報告書

赤穂市議会

議長 山田 昌弘 様

派遣代表者氏名 中谷 行夫

下記事項について、調査・参加したので、報告致します。

記

1. 調査事項または講演会等内容

赤穂市内障害者就労支援施設 11施設

2. 実施日

令和5年2月13日(月)～令和5年2月17日(金)

※別紙1のとおり

3. 調査地または開催地

※別紙2のとおり

4. 派遣議員の氏名

荒木 友貴、井田 佐登司、南條 千鶴子、深町 直也、安田 哲、中谷 行夫

5. 派遣報告所感

※別紙3のとおり

※別紙1

障害者就労施設視察日程

班		月 日	曜日	施 設 名		時 間	備 考
1 班	深町 安田	2月15日	水	やまびこ寮	B型	10:00 ~ 10:35	
				さくら園	B型	10:40 ~ 11:15	
				はくほう	A型	11:20 ~ 12:00	
		2月17日	金	SORA	B型	13:00 ~ 13:40	同行:中谷・荒木
2 班	中谷 荒木	2月13日	月	ワーキングnetにしはりま	B型	10:55 ~ 11:40	
				わかば園	B型	13:00 ~ 13:40	同行:南條
				komorebiわーく	B型	14:10 ~ 14:40	同行:南條
		2月17日	金	フロンティア	A型	14:00 ~ 15:20	同行:深町
3 班	井田 南條	2月14日	火	みのり大地	B型	10:00 ~ 10:35	
				赤穂元禄村	B型	10:45 ~ 11:15	
				げんぶ	A型	11:20 ~ 12:00	

赤穂市内障害者就労施設 視察事業所

No.	事業所名	住所	電話	備考
1	社会福祉法人玄武会 就労継続支援A型 げんぶ	〒678-0249 赤穂市片浜町227	45-1113	
2	医療法人伯鳳会 就労継続支援A型 はくほう	〒678-0249 赤穂市片浜町228	43-9100	
3	特定非営利活動法人 就労継続支援A型 フロンティア	〒678-0239 赤穂市加里屋1096-28	43-2255	
4	特定非営利活動法人ワーキングnetにしほりま 就労継続支援B型 ワーキング西播磨作業所	〒678-0232 赤穂市中広1576-17	25-1265	
5	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 赤穂精華園 やまびこ寮	〒678-0252 赤穂市大津1327	43-2091	
6	社会福祉法人みりのり 就労継続支援B型事業所 みのり大地	〒678-0221 赤穂市山手町10-1	45-0988	
7	社会福祉法人緑樹福祉会 就労継続支援B型事業所 わかば園	〒678-0252 赤穂市大津1041	45-2240	
8	赤穂市立 就労移行支援事業・就労継続支援B型 さくら園	〒678-0252 赤穂市大津1327-56	42-3349	
9	医療法人千水会 就労継続支援B型 就労支援センターSORA	〒678-0173 赤穂市浜市334-2	48-8880	
10	一般社団法人日本博雄厚生福祉会 就労継続支援B型 赤穂元禄村	〒678-0201 赤穂市塩屋192-10	56-6464	
11	一般社団法人 Komorebi 就労継続支援B型 Komorebi わーく	〒678-1181 赤穂市檜原1393	090-1967-4798	

(様式第3号)

別紙3

●施設の概要

<社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団赤穂精華園 やまびこ寮>

就労継続支援 B 型。

主要事業は、パン・菓子製造。そのほか学校、施設の清掃、ウエス（古布）裁断を行っている。

施設は新しく、完全個室の環境で利用者さんが作業できる。

<赤穂市立さくら園>

就労継続支援 B 型、就労移行支援事業。

主要事業は、三菱電機からの銅線の皮むき作業、洗車、木工加工など。

就労移行支援事業では、実際に就労に向けた受け入れはないものの、赤穂特別支援学校の生徒さんの就労アセスメントを受け入れている。

<医療法人伯鳳会 就労継続支援 A 型施設 はくほう>

就労継続支援 A 型。

主要事業は、赤穂中央病院での飲食店運営や惣菜の製造販売、施設清掃。飲食店業務では調理師免許を取得した利用者も2名在籍している。

<医療法人千水会 SORA>

就労継続支援 B 型。

主要事業は、惣菜製造、施設内清掃・食器洗浄、雑貨製作。

利用者は隣接病院からの紹介が多い。厨房施設等は充実している。個別支援(面談やSST)に細やかに対応している。

<特定非営利活動法人 ワーキング net にしはりま>

就労継続支援 B 型。

主要事業はワーキング西播磨作業所で主にエアコン制御ボックスなどの解体、分別作業を行うのと別施設のあこう手織り工房で主にさをり織り製品の作成を行っている。農福連携(みかん園)も試みている。

<社会福祉法人緑樹福祉会 わかば園>

就労継続支援 B 型。

主要事業は、病院や企業からのベッド柵の洗浄、電気スイッチ部品の組立等及び関西福祉大学内の喫茶店のホール運営。利用者のイラスト作品を用いた封筒やバッチなどの製品販売も行う。

<一般社団法人 Komorebi Komorebi わーく>

就労継続支援 B 型。

主要事業は麦茶の袋詰め、タオル畳み、手芸等で、利用者のニーズに応じて作業内容を考案している。

ワークショップとしてウッドバーニングの実演、体験、販売も実施予定。赤穂市北部の立地、個々の利用者が個室を利用して作業できる環境があることが特徴。

<特定非営利活動法人 就労継続支援 A 型施設 フロンティア>

就労継続支援 A 型。

主要事業は、のぼり旗の梱包、ラスク製作、資源リサイクル(家電製品や空き缶など)、電気部品組立てを行っている。

企業との連携で、施設外就労を効果的に活用している。就労への意識付けを行い、出勤率を高める工夫をしている。

<社会福祉法人みのり みのり大地>

就労継続支援 B 型。

主要事業は、焼き菓子の製造・販売、電気製品の解体・分別、布マスクづくりなど。施設内で喫茶営業も行っている。

同施設内にて地域活動支援センター事業を行っており、その事業を利用して生活リズムを整えたのち、就労サービスを利用されるケースがある。

<一般社団法人日本博雄厚生福祉会 赤穂元禄村>

就労継続支援 B 型。

主要事業は、映画 DVD の制作、手編み小物制作、農作物の生産・販売などを計画。

施設を開所したばかりで利用者を募集中。

<社会福祉法人玄武会 就労継続支援 A 型施設 げんぶ>

就労継続支援 A 型。

主要事業は、施設清掃・ワックスがけ、公園などの除草作業、菓子パンなどの製造を行っている。

利用者と定期的に個別面談を実施し、家族とは担当者会議等を実施。

●所感 ※視察した施設は順不同としている。

・商業施設内の店舗については、今年度末で閉店し、今後は車両での移動販売を中心とする予定。コロナ禍や物価高騰のため、民間事業者からの仕事の確保に影響が出ている。

・関西福祉大学との交流も盛んで卒業生の就職先にもなっているなど、学福連携の推進は有効である。

・卒業アルバムの箱詰め作業は佐世保市の高校のものであるなど、製本会社の依頼で様々な印刷物の箱詰めを行っている。

・就労移行支援事業では、実際に就労に向けた受け入れはないものの、赤穂特別支援学校の生徒さんの就労アセスメントを受け入れている。

- ・業務確保のため、西播磨県民局等との連携により農福連携に取り組み始めている。
- ・仕事の確保が課題であるが、農福連携といった新しい取り組みを始めており行政支援の余地がある。
- ・一般就労まで繋がらないという課題があった。面接時に人事担当の他に実際に働くことになる現場の責任者も同席してもらえれば違った部分も出てくるのではとの話があった。
- ・サービス業ということで接客対応など難しい部分もあるとのこと。一方で比較的年齢の若い利用者が多く、技能を高めていけることも多いと感じた。
- ・厨房施設等は充実している。惣菜等の製造をさらに拡大するには利用者、スタッフのマンパワーが不足している。
- ・利用者に対する個別支援を充実させている分、マンパワーの確保が課題であった。
- ・赤穂緞通の糸を用いた小物製作など、ニーズのある商品開発が素晴らしいと感じた。
- ・利用者ができる内職的な作業が不足しているとのことで、仕事の確保が課題であった。
- ・以前にも施設の視察（個人的）に行かせてもらったことがあったが、例えば作業の種類にもよるが、繁忙期の有無等知らないことが多々あり大変勉強になった。
- ・各利用者に合った勤務体系をとっているが、施設にとってメリットなのか研究すべきところだと考える。
- ・利用者さんは、自分のペースで出勤や作業ができるので、利用しやすいと考える。
- ・最近開設したばかりで、登録者はまだいない。設備等の就労環境は整っていた。利用者さんへのPRが今以上に必要だと考える。
- ・同じ系列組織の中の施設で清掃などを行っているようだが、行政の規則の範囲外によるものになるため、規則を緩和してほしいとの要望があり、これからの課題と感じた。就労施設を利用者さんにとって、働きやすい環境にしていくべきと考える。
- ・複数の就労支援施設を視察に行き、各事業所ごとの問題点が有ると感じた。まだまだ勉強不足であるが、これからも各事業所に足を運び現状を把握し、利用者側が作業しやすい環境及び施設側が運営しやすい環境を考え、提案すべきと考える。
- ・利用者の障がいの特徴により比較的安定して施設に通える方と、体調などによって通所が不定期になってしまう方と様々であった。施設では各利用者の状況に応じ対応されてい

るが、利用者定員より多く登録者がいたとしても、一日平均では利用人数に満たなくなる場合もあり、運営面で利用者の獲得に課題を抱える施設もあった。

- ・企業との安定した提携が運営上非常に重要になっていた。企業との間で作業場の提供や、定期的に仕事(機械部品の解体作業、リサイクル業務、製品制作など)が斡旋される方法を確保できている施設の次の課題として、季節ごとの作業量に波があり、受注量・内容によっては納期に間に合わせるため支援員がサポートに入る場合もある。利用者と仕事内容のマッチングもあるため、どのような作業であれば負担なく利用者ができるか発信する工夫が重要であることが分かった。利用者によっては、製品を作ることよりも、手順をあまり気にせず取り組める分解・解体作業が取り組みやすいといった特徴も挙げられていた。

- ・各就労支援施設は相談支援事業所から利用者の紹介を受け、マッチングを行うため、施設の特徴や仕事内容を相談支援事業所に把握してもらい、利用者に伝えてもらうことが登録者数を確保するために必須であった。また、施設が安定して仕事を得るために、施設のある地区(自治会)や企業に受注業務内容を広く広報できる方法や、製品の多様な販売場所を得る方法を行政と模索したいと要望があった。

- ・今回の障がい者の就労施設視察は、相談支援事業所専門員の方からの就労支援の重要性と基礎知識を学んでからの実施としたことで意義深いものになった。更に各視察施設への視察調査項目を伝え解答を頂いた施設もあり、各施設の状況や課題をある程度事前に把握する事が出来、効果的であったと思う。

- ・各施設において、設立年度・設置場所・利用者登録人数・作業内容等が異なるため独自の課題がある。共通課題として、就労支援事業として安定的かつ円滑に事業を継続するため、受注の獲得は重要である事を再認識する事が出来た。

- ・就労継続支援 A 型と B 型事業所においても、それぞれに課題はあるが、特に A 型事業に関しては経営管理上、企業や法人等からの受注内容(作業や工賃)は重要であり地域性を考慮した柔軟な見解が必要であると認識した。

- ・社会福祉事業である就労支援事業の継続と発展が、障がい者当事者及び家族だけでなく、社会全体としての重要課題であるとして、今後も市民の代表として学び、理解し、支援をしていきたい。

- ・事業に必要な就労施設の作業場を企業や個人により提供されており、地域における社会貢献は素晴らしいことだと感じた。

- ・各施設に共通する課題として、定員と利用者人数の確保や仕事の内容・受注量とのバランス調整の難しさ、仕事の確保に苦労があった。また、各施設で取り組んでいる作業や就

労の取り組みのPR方法、施設での製造品の販売方法に苦慮されており、事業所を継続して運営していくためには、行政による支援が必要だと感じた。

- ・各施設の特性を生かし、職員のアイデアや工夫による商品販売で増収に努められており、商品のPR等を各所で行う等私たちにできる支援があると感じた。

- ・大半の利用者が親亡き後の生活について大きな不安を考えているのが現実であり、解決策として不足しているグループホームの新規運営が必要であることは、赤穂市の課題であると感じた。

- ・直接、現場で話を伺うことで、事業運営にかかる厳しい現状や課題を知ることができ、就労者や事業者にとって就労施設の必要性を改めて認識した有意義な視察となった。障がい者が増加傾向にあるため、今後、法改正や行政による支援・改善の必要性を求めていきたいと感じた。